



長寿会

ことしの「としよりの日」には、満70才以上のおとしよりを公会堂に招いて、盛大な「長寿会」を開いた。昨年までの「敬老会」を長寿会と改めたもので、983人のうち680人のおとしよりが集まった。演芸は市内有志の熱演で、日光、清滝、小来川の各婦人会、安良沢の婦人部と子供会、宝殿の神山留吉さん、所野の老人クラブ、守田屋興行部などが熱演、おとしよりは、楽しい一日を送った。

(写真は、清滝婦人会の「南国土佐をあとにして」)

季節の手帳

10月は天高く馬肥ゆる、暮らしやすい季節。寒くなる前にこの冬の衣服のプランを立て、更生できるものは更生し、新鮮な気持ちで冬の衣服を身につけられるよう準備しよう。また仕事を手きわよくかたづけ、秋の夜長に読書を楽しみたい。

衣

10月はセーターの季節。和服をきかれた人にも、ふだん着にセーターとスカート。の組合せは働きやすく楽しい。毛糸編みの上着を、きれいに長持ちさせるには、脱いだ時の手入れが大切、脱いだら軽くホコリをたたき出し、風を通すだけでもサッパリする。ヒジがのびていたら、キリを吹いて形をととのえて、陰ほしにする。エリのまわりやソデ口がよこれかけたら、早めに部分的に処理をしよう。

写真食品衛生一日監視

食

つるべ落ちの秋の日。なにかを過ぎるとすぐ日が暮れる。食品は数日分を買って置き、食生活を計画的にすれば自然にバランスのとれた献立が作られることになる。くだもの豊富になり、リンゴ、ブドウ、カキ、早生ミカンが出まわり、魚かい類、野菜類も豊富、肉のたかい時などは、スルメイカを天ぷらやフライのたねに利用したり、季節の野菜、魚かい類をふんだんに使ったお料理を考えてみよう。

住

夏のうち使ってきた薄地やレースのカーテンは、濃い色調の厚地のものにし、ヒダがタツプリ寄せられると部屋も落付く、秋の夜長を読書や手仕事に過ごすには、まず電灯を明るくする。カサがよこれていたり、目から光源が離れすぎると能率を下げ目が疲れる原因になる。10月も末になると火が恋しくなる。手持ちの暖房用ストーブ、電気器具類なども全部とり出し、一度スイッチを入れて故障の有無を調べておきたい。

食品衛生一日監視

9月22日2度目の食品衛生一日監視が実施された。これは、食品衛生協会の日光分会が主催して実施したもので婦人会の協力もあり、成果を納めた。

店舗によっては、衛生監理の十分でないものも見受けられたが、各店舗とも衛生設備が整備されてきたことが目立ち、衛生管理にもこまかい注意がはらわれていた。



赤い羽根に協力しよう



たすけあう

心が つくる

よい 社会

共同募金運動は、これまでも、またこれからさきも、そのはたらきを通して、社会福祉を前進させてゆく。

ことしも10月1日から全国いっせいに、この運動が展開され、たすけあう、あた、かい心というたえることになっている。

ことしの日光市の目標額は、六十九万三千円。これまでどおり、戸別、大口、街頭の方法で実施される。

共同募金

たすけあうの心を